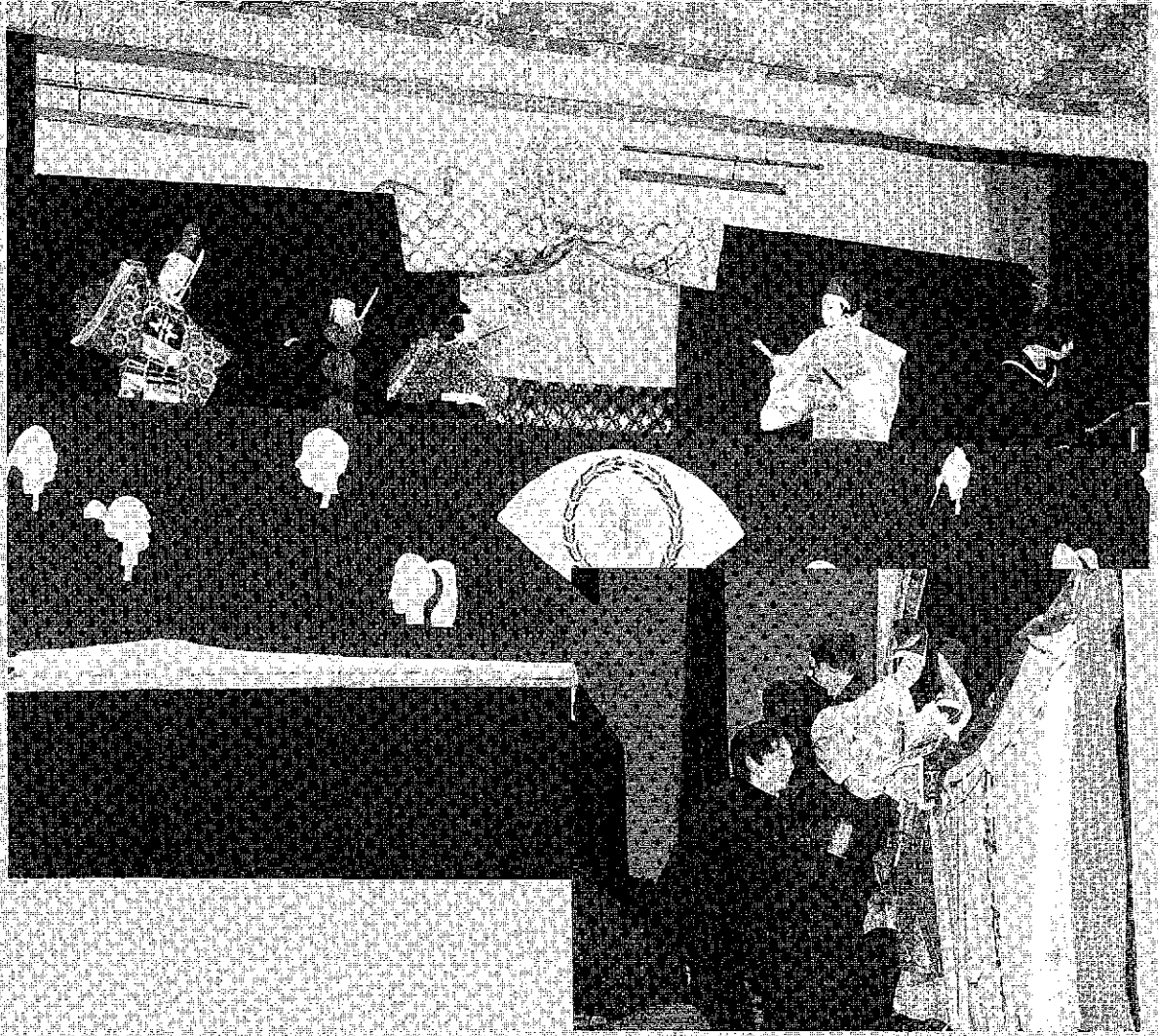


新潟県

公民館月報 3

平成12年3月号 通巻第565号

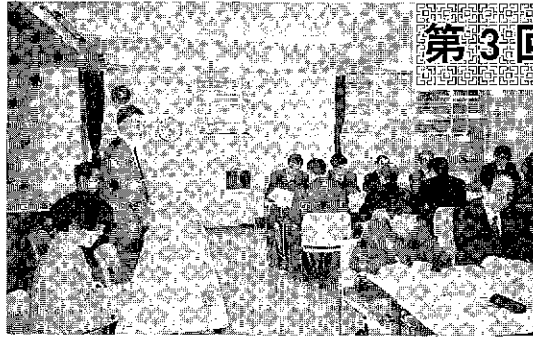


表紙 羽茂中学校・郷土芸能
クラブ
(羽茂町公民館)

第11回公民館全国セミナー参加報告

視 点 生涯学習社会における公民館活動
ひろば 子供会の活動が町の一大イベントに！
実践シリーズ 市民大学講座
サークル交流 荻川水墨画会（新津市荻川地区公民館）
舞の会（亀田町公民館）
素顔拝見 清野修さん（五泉市）
滝本篤透さん（頸城村）

第3回理事会及び臨時評議員会開催



臨時評議員会

平成12年度の事業計画概要(案) できる

県公連創立50周年記念式典・祝賀会は

第51回新潟県公民館大会と併催で

去る2月23日(火)の午前、新潟市中央公民館に 立50周年記念式典並びに記念祝賀会概要案」において第3回理事会が開催され、当会の「12年 等について協議された後、午後の臨時評議員会基本方針・重点目標、事業計画案「県公連規 程の修正案」第51回県公民館大会兼県公連創 程の修正案」に委ねられ、ほぼ原案どおり了承された。

一、新年度の基本方針・重点目標・事業計画案について
基本方針については、ほぼ前年度方針を踏まえ、(1)上部組織との連

携・強化、(2)職員の資質向上を図る研修事業の実施、(3)情報提供事業の充実、(4)県公連の体質強化、(5)県公連創立50周年記念事業の実施等の五点を重点施策として取り組むこととした。

このうち(4)県公連の体質強化では、2カ年計画の最終年度で人件費の削減、是正に努め、また(5)県公連創立50周年記念事業については、平成12年度第51回県公民館大会と併催して実施することとした。

三、第51回県公民館大会兼県公連創立50周年記念式典並びに記念祝賀会概要案について
主管公連の二市北蒲公連から概要案について提案され、ほぼ原案どおりで了承された。

下公連第3回 評議員会開催

去る2月8日(火) 新潟市中央公民館において 下公連第3回評議員会が開催され、県公連から事務局長も出席した。

議題は、(1)平成12年度下越地区公民館関係職員研修会について、主管の佐渡公連から提案された。

県公連創立50周年記念の冠付研修会とし、研修テーマは「新しい時代の公民館の役割」と設定し、その概要は、

・期日 9月21日(木)22日(金)
・会場 佐渡、佐和田町八幡館
・内容 分科会、全体講話、記念講話

等々、講師は、佐渡トキ保護センター長、近辻宏福様が予定されている。

ついで、(2)平成11年度歳入歳出についての中間報告がなされた後、(3)第51回県公民館大会兼県公連創立50周年記念大会及び祝賀会について、主管の二市北蒲公連から提案され、了承された。

最後に、(4)平成11年度郡市別研修状況情報交換を行った後、平成12年度第1回評議員会の期日を5月16日(火)と設定し、閉会した。

◆新任公民館職員におすすめるハンドブック
公民館経営の手引 第1集・第2集
実践事例集 地域づくりと公民館
社会教育学級等における
学習計画立案の手順と方法

元横浜国立大学教授 吉川 弘著

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円

申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内、県公民館連合会事務局 ☎・FAX025-224-6973

B5版 62ページ
各500円(送料実費)
A4版 88ページ
500円(送料実費)

B5版 44ページ
500円(送料実費)

第2回生涯学習指導者セミナー 事例発表 「生涯学習によるまちづくり」



(貝沼英樹様)

(本間陽一様)

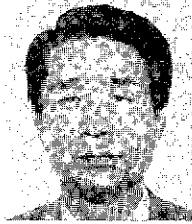
◇平成12年2月3日(休)
◇県立生涯学習推進センター

公民館に元気づけを!!の主催者の企画～学習の成果を生かした取組事例～の事例発表を聞く機会に接し、大変意を強くした。

◇事例1の「とよさか学院」の実践は、発起人の貝沼様の念入りな事前準備と立ち上げの考え方には、感心するばかりだった。核づくりから賛同者のリストアップ、軌道にのってからの輪の拡大方法、それに耐え得る学習講座の企画・編成・振り返り等、そのひたむきさと迫力に心を打たれた。正に自主、自学の筋が通っていた。

◇事例2 やや行政主導型ではあるが、「生涯学習のまちづくり」の一環として、生涯学習講座「創(つくる)」から「さんぽく未来塾」に至るまでの経緯を、本間様は豊富な、具体的に分かり易い資料を駆使して発表された。町づくりは人づくりを具現化するものであるとの発想の下、町各部局、関係機関との連携を密接にしながら、生涯学習の推進に当たっている。

視 点



戦後、公民館は住民の学習活動の拠点施設として、大きな役割を果たしてきた。しかし、近年、各種生涯学習施設の設置や国の地方分権、規制緩和による社会教育法の改正等の中で、その在り方が

大きく変わろうとしています。このようなかで各市町村におきましても、これまでの公民館事業をあらためて評価し、今後の活動について見直す必要があると思

生涯学習社会における

公民館活動

角 張 修

これからは、単に学習機会や集会の場を提供するだけでなく、指導者養成などの広域的な事業を実施するほか、当該地域並びに近隣市町村を網羅する学習情報の収集・提供や

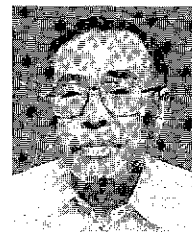
学習相談の機能を充実する必要があります。また、生涯学習関連施設等その連携を推進し、施設間ネットワークの形成を促進する中心的役割を果たしてい

くことが期待されます。さらに、リーダー養成研修や学級・講座等の修了者を公民館事業の指導者として、地域の人々を、施設の学習ボランティアとして積極的に受け入れる学習成果活用システムを構築することが重要であります。このことは、多様な活動の展開を一層可能とするばかりでなく、地域住民のコミュニケーションを深め、地域社会の形成に役立ちます。

(上越教育事務所 社会教育課長)

子供の活動が町の一大イベントに!

松代町公民館運営審議会委員 鈴木益夫



松代町の一大イベント「松代冬の陣・

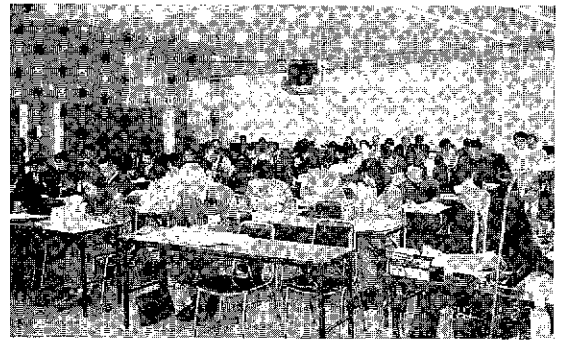
「松代町の一大イベント」も回を重ねること十三回目を迎えることになりました。このイベントも県内はもとより県外からも多くのお客様が当町へおい出になり、雪中鉄人レースと言われる「乗つとれ松代城」に参加したり、いろいろな行事を楽しんで帰られるようになりました。これもほくほく線の開通や、マスコミを利用しての強力なPR活動が功を奏したのと思えますが、一番重要なことは、地域の皆さんの熱意によるものと思えます。お金をかけて見せるイベントは、いくらでも誘客が図られますが、住民参加型のイベントは、地元の人達の熱意が伝わって来なければ長続きしません。そんなことが認められたのか、このイベントも地域活性化大賞なるものを受賞し、また、「十日町雪まつり」松之山町ス

ひ る ば

ただこのイベントも、もとをただせば公民館活動、それも子供会活動が始まりました、ということには当の松代町でも忘れ去られようとしております。松代城山は上杉謙信ののろし場ということで、子供会を総動員して六日町から春日山までのろしレーをやったり、松代城山の中腹にある小さな丘を子供会の山と称してキャンプをやったり色々な遊びをして楽しんでいました。その中の一つに、城山へかけ上がる遊びが含まれていたのです。鉄の鎖を取り付けたりしたのがなつかしく思い出されます。町でも地域活性化のためのイベントを計画しておりましたので、この遊びを大々的に広げたらどうかと提案したところ採用された、というわけです。

セミナー参加報告

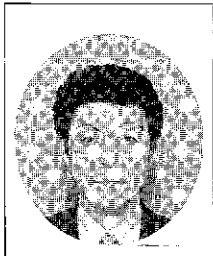
国立オリンピック記念青少年総合センター われたが、その研修報告記である



この度、参加させて頂いた(通称公民館全国セミナー)は、「地域の教育力を高める公民館活動」と題して、1月26日から始まり28日迄の3日間の日程で、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に、北は北海道南は沖縄まで61人の参加で行われましたが、その内容について簡単に幾つか報告させて頂きます。

◇はじめに

元・文部事務次官、勲日本視聴覚教育協会々長井内慶次郎氏より、社会教育への期待―公民館に寄せる―と題して、特別講演がありました。この講演の中で井内氏は、現在、社会教育の重要性や公民館の必要性が稀薄になっている。過去の事例を回顧し、理解するにはその事柄を、その時代や背景の中に置くことが必要であり、公民館建設に当たっての当時の人達の意義を知ることが大切である、50年の公民館の歴史のなかに貫く本の棒があるならば(きつとあると思う)継承していってほしい、と言われ、井内氏の講演を聞き、終戦間もない日本の

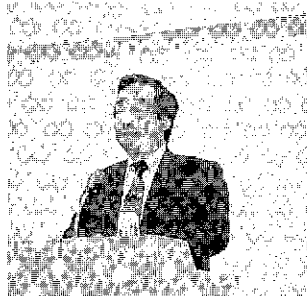


「公民館活動と地域の教育力」

新潟市石山地区公民館長 内山 卯博

が、「生涯審答申後の社会教育行政」と題して講義され、現在の社会構造は急速に変化している、こんな、中社会教育のネットワークを作ることが急務となっている。例えば、子ども達を健全に育成する地域づくりや、子どもが産みやすいシステムづくり等が必要となってくる。私としては、まず子どもセンターやエル・ネット等子どもを中心とした施策を出していきたい、そこで地域住民に一番身近な社会教育施設である公民館が、その

われ、その中で、地域の教育力とはなにか、何故教育力を高めなければならないか、そしてそのために公民館が果たさなければならぬ役割等多くのことが話され、教育力についてのケース研究で、揖斐川町の方は地域の中で社会規範を持ち、学校では体験できない生活体験や参加体験があり、活動している多くの地域集団があることと定義している。また、公民館の果たす役割についてのシンポジウムで、帝京大学助教授佐藤晴雄氏は、公



文部省富岡賢治局長

中にあって、国民一人ひとりがお互いに助け合い、生き生きと暮らせる社会を培うには社会教育が重要であり、公民館が必要であるという熱い思いを心で感ずることができ、このことを踏まえて今後の公民館の在り方について考えて行きたいと思っております。

◇情報システム確立の重要性

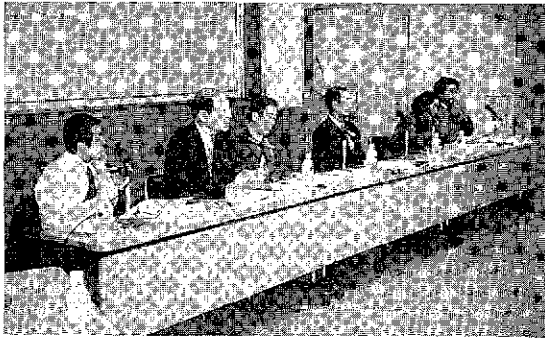
拠点としての機能を一層高めるため、新たな情報や既存している情報を集約し、地域における総合的な情報のベースキャンプとなっていくべき、そして、これを将来的には大人の情報交換の場や通信放送システムにしていきたい、と言われました。

◇教育と公民館の果たす役割

翌日、地域の教育力を高めるための公民館の役割について、ケース研究やシンポジウムが行

◇終わりに

このセミナーに参加させて頂いたとき、何といつても大人が次代を担う子ども達の健全育成の大切さを認識することが、一番大事であることを痛感し、そのため今後公民館は、公民館が持つ豊富な人間ネットワークを活かし、学校や地域と融合しながら、子ども達に関わる情報の一元化及び活動の場や機会を提供するなど、地域の総合的施設を目指し「白鳥入芦花」を踏まえて地域の人達と一緒に住める地域づくりにも力を入れて、進めていきたいと考えております。



《研修報告記》

第11回公民館全国

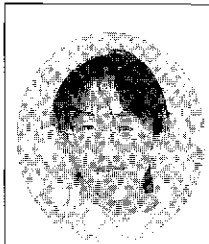
去る1月26日から28日にわたり東京
夕一会場で各都道府県から参加して行

○はじめに

この度、公民館全国セミナーに出席し勉強する機会を頂き、2泊3日の研修に参加して参りました。今回のセミナーのテーマは「地域の教育力を高める公民館活動」ということで、日頃から「今後の公民館のあり方はこれでいいのか」と悩みながら仕事をしていた私にとって、公民館のこれから進むべき道を示されたような研修でした。「地域の学習力」という漠然としたテーマに、多角的な方面からの事例、問い掛け、研究などが寄せられた中から、まともよりは悪いですが簡単に報告をさせていただきます。

○新しい教育改革と公民館

初日から、社会教育法の制定に携わられた井内元文部事務次官、また、富岡文部省生涯学習局長の講義があり、国の新しい教育改革、その中で公民館に大きな役割を期待されていること、学校が変わるためにも、公民館が子どもたちの教育（育ちの応援）に積極的に関わって欲しいことなど繰り返し述べられ



「地域の教育力」と公民館のこれから

加茂市公民館主事 長谷川 優子

ていました。特に、井内氏のお話の中で、戦後の混乱期に憲法制定よりも早く、公民館設置の通達が省庁の枠を越えて出されていたこと、現在も続く優良公民館表彰、第一回目は民間主導で行われたことなど、公民館という施設（機能）はもともとトップダウンではなく、地域の中で人々の手によって育まれたものであると言われたのが印象的で、公民館のあり方を考える上で大事な要素であると感じました。

物、人、自然）を利用するだけでなく、地域と学校が一体となって子どもを育む、そして地域も育つ、というのが目標であろうとまとめられました。

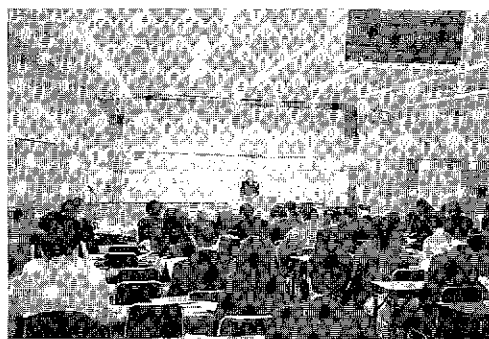
○地域の学習力と学校・公民館

学校と社会教育（あるいは社会）のあり方に、学社融合という言葉があり、その事例がセミナーを通して幾つか挙げられていました。学校は学校教育の範囲で、公民館は社会教育の範囲

○地域の学習力とは

今、地域の学習力という場合子どもの教育において使われることが多いことから、セミナー自体も子どもを育むという観点で進められていました。事例研究の助言者であった札幌国際大学小山教授は、地域の学習力とは何か、という問いに、学校サイドではどうしても地域の教育資源と捉えがちであり、それを利用する方向に陥りやすい。これからは地域の教育資源（歴史

で活動しながら、お互いに関わる部分を持つていくことが、それら事例の成功の鍵とも言えるようでした。（そしてそれが地域に根ざして伝統となること）公民館は、地域に多様なサークルを送り出し、その交流を図り、行政、地域、学校との（縁の下）のつなぎ役になるのがこれらの使命であると、何人かの先生のお話にもありました。



育む、といった営みを公民館活動の中に取り入れ、弱まってしまった地域の体力を回復していくのが、私たち公民館職員の仕事であり、行政や学校の高くなってしまった垣根を取り払うのが公民館から築立った市民のみなさんの生涯学習であり、役目なのだと感じました。

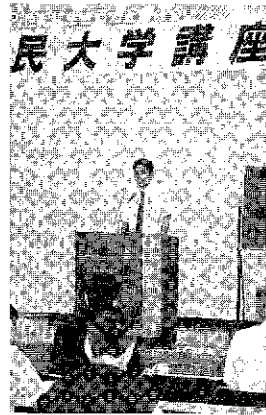
いつも、色々な分野で活躍する、あるいは趣味を楽しみ、人生を楽しむ市民の皆様と接しながら、公民館職員は、地域を愛する正義の味方！でなくてはならないと感じています。今後はさらに多様な面、さらに多様なネットワークを張っていくのが当面の課題だと思っています。

実践記録シリズ(41)

市民大学講座

運営委員会による企画・運営

加茂市公民館



1、はじめに

大学の講義を地域にもという趣旨で、新潟大学の公開講座が開始されたことを受け、当市も昭和51年度からこの制度を活用して、「市民大学講座」をスタートしました。この公開講座が受講生に大変好評であったことから、新潟大学の講座が終了した昭和57年度から引き続き市独自で開催するようになり、今日まで続いております。この講座のねらいは、「21世紀に生きる力を蓄える」ことを目的に、社会生活上の課題や方向について考える【ことを大きなテーマに掲げて、各分野からそれぞれ講師をお招きして講座を開設してきました。

2、運営委員会の設置

これだけ長く続いてきた陰には、運営委員会の努力と協力があってのことです。運営委員会の設置につきましては、公開講座を開設するにあたり、受講生を確保するには公民館だけでは限度があり、民間の協力を得ることが必要であるということから、青年会議所に協力を要請したところ、理事長も講座の趣旨を理解して協力を約束され、会員の中から運営委員を選出してくださいました。講座の開設当初は、大学側で組んだカリキュラムで運営していましたが、自分たちの講座は自分たちの手で、という気運が運営委員会の中で高まって来るとともに、受講生からも様々な要望等が出るようになってきたため、大学側と相談しながら、受講生の要望を入れたカリキュラムを組むようになりました。

運営委員会では、より市民に親しまれ、誰でもが気軽に受講

できる講座を目指して努力しております。三年毎にアンケートの実施や、運営委員が直接受講生の声を聞くなどして、要望を取り入れたカリキュラムの作成に努めております。平成七年度からは、自分の聴きたい講座を選んで受講できるように改めました。これによつて、全講座を通して受講する人数は減りましたが、好きな講座だけ選んで受講できるということで、市民からは好評であります。また、平成九年度からは、「いきいき県民カレッジ」の事業に参加して加茂市民以外の人達にも受講の対象を広げております。

運営委員会の構成は、委員長一名、副委員長二名、相談役一名(前委員長)、会計監査一名、委員十二名となっております。委員会の規約などはありませんが、毎年公民館長が、受講生の中から委嘱して就任してもらっており、役員は委員の互選で選出することが慣例となっております。六月の閉講を目指して、前年の十一月の中旬頃から委員会の活動が始まり、開講式までに六回から七回の委員会を開催し、二月上旬を目処に口程と講師を決め、四月下旬までに委員の皆さんが手分けをして

受講生の募集を行います。講座が始まりますと、会場準備、受付、司会、記録等、運営の一切を運営委員の当番制でやっております。

3、運営方針と今後の課題

委員会の運営は、「無理せず、力まず、楽しく」をモットーにして、和気あいあいの中で活発な意見交換がなされていきます。また、受講生間の情報交換や親睦を深める目的で、日帰りの研修旅行や、開講式後にパーティーを開くなどして、受講生か

らも喜ばれております。運営委員会の運営費等の経費負担として、一人三千円の受講料をいただいております。これからの課題としては、受益者負担のあり方や、健常者しか念頭に置かなかった講座運営等があります。これからも、誰もが気軽に楽しく受講できるよう心掛け、車椅子での入場や手話通訳の導入等の検討をしながら、一人でも多くの人が受講できるよう努めて参りたいと考えております。

平成11年度 市民大学講座日程表

回	月日	曜	主 題(テーマ)	講 師
1	6/9	水	開講式(19:00) 講演(19:15~21:00) 良寛の生き方と魅力	全国良寛会常任理事 谷川 敏剛 様
2	6/16	水	暮らしと印鑑	新潟経営大学教授 小坂 清弘 様
3	6/24	木	環境問題とは、いま何が問題か	全国清涼飲料工業界 広報部長 市川 拓世 様
4	6/30	水	星の光の変化で何が分かるか	新潟県立巻農業高校 教諭 阿部 正 様
5	7/7	水	経済は操作できるか?	新潟経営大学学長 池田 一新 様
6	7/14	水	『元気の心理学』 =自己発見とよい人間関係=	股部クリニック院長 「加茂エンカレッジの会」代表 股部 崇和 様
7	7/21	水	「これからの教育」子育てはどうあるべきか?	曹洞宗延命寺副住職 薄田 泰元 様
8	7/25	日	講演(14:00~16:00) 登山は「自分探し」と「夢」の創造 =角田川からチョモランマまで= 開講式(修了証書授与)(16:00~) パーティ(16:30~)	新潟中央法律事務所専務長 新潟クライミングクラブ会長 佐藤 賢 様
特別研修	7/4	日	行き先 安田町、黒川村方面 「吉田東伍記念博物館」「黒川村郷土文化伝習館」	ほか

サークル交流

水墨画を描いて

楽しんでいきます

荻川水墨画会

荻川水墨画会は、水墨画愛好者の親睦と技術向上を目的にしたサークルです。

会員20人で週一回荻川地区公民館で勉強会を開いています。当初荻川絵画同好会として発足したが平成七年に荻川水墨画会に改称し、古典的なものから身近にある現代的な題材など幅広く取り組んでいます。構成メンバーは、職場の勤めや、子育てが終った人などが多く、絵画

に取り組む意欲や会場の雰囲気は若者に負けないくらい明るく、これは同じ趣味をもつ楽しさの現れです。

例年やっている会員展も年々レベルアップし、最近では全国公募の水墨美術展や市展などに受賞者が増え勉強会に大きな励みとなって、次回の出展へ意欲をつのらせています。

ともあれ水墨画を始めてから夫々に友人が増え毎日が楽しく過ごすごうがでさ言んでいます。今後は、ますます楽しい作品ができることと、愛好者の増えることを会員一同期待しております。

(新津市荻川水墨会)

青木 寅吉 記

踊りで色気を出すのに

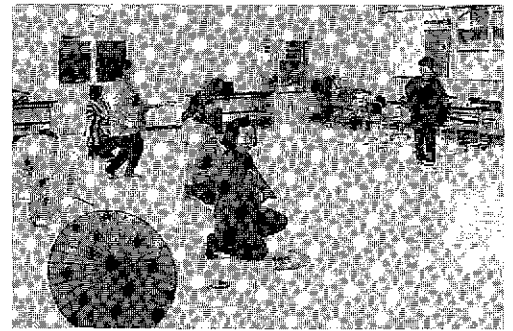
苦勞しています

舞の会

私達のクラブは、公民館の中の婦人大学講座のクラブ活動として出来たのです。二十年位たったでしようか!!当時は十五人位いましたが、今は練習の口が悪かったりしてクラブが分れて現在は五人でやっています。新舞踊、民踊、と楽しく毎週末

曜日の午後一時三十分〜三時三十分迄練習をしています。年令も大代に乗った人達ですので、お茶の時間も有り、一週間の話もつって楽しく踊っています。先生はとても年を見せない長谷川マツイ(ピクター教授)先生です。新舞踊は、カラオケに合わせて演歌を踊っています。とても先生の様な色気が出てなくて苦勞しています。民踊は、全国の郷土民踊を踊っています。地元の亀田其句、佐渡おけさはとてもむずかしく、まだまだ勉強中です。又年間多くの舞台が有りますので、毎週練習を続けています。それから亀田町の亀田甚句流しにも、毎年協力をして、楽しんで踊っています。

(亀田町 村山 愛子 記)

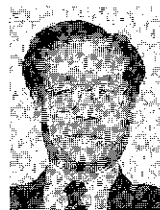


五泉市公民館

次長 清野 修 さん

平成十一年四月一日、真面目な風貌と、選挙管理委員会・企画財政課・監査委員事務局を渡り歩いてきた経歴とを携えて、その男、清野修はやって来た。

その堅いイメージから、「明るく楽しい公民館」を標榜する我々職員の中に、「どうなる五泉市公民館!」の想いが浮かんだことはない。うまでもない。しかし、そんな不安



そんな不安

素顔拝見

が拭拭されるのに、時を必要とはしなかった。今では、「明るく楽しい公民館」の牽引車であるばかりか、「明るく楽しすぎる」次長に、振り落とされそうになることもしばしば。

ある時は、磯の香りと釣り竿をこよなく愛する自然派。またある時は、流暢な北京語と怪しげな韓国語を操る国際派。果たしてその実体は、日々東奔西走し、精力的に公民館活動をこなす行動派。それが、我が次長・清野修の素顔である。

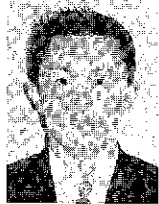
(五泉市公民館 清水 康之 記)

頸城村公民館

主事 滝本篤透 さん

社会教育主事として、今年八年目になる大ベテランの彼は、社会体育・生涯スポーツの要として地域住民に大変親しまれている。春・夏はカメラ、冬はスキーの指導者として児童の指導にもあたり、学社融合事業にも大活躍。最愛の妻とは大恋愛の末結ばれ、二男一女の父としてやさしい素顔も時折みせる。

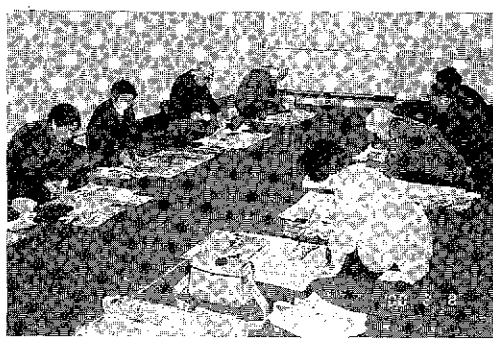
現在、彼のマイブームは、ワールドミュージック(主にレゲエ)のレコード収集と鑑賞、オリジナルソングを創ること。



音楽で培われた豊かな感性と「乗り」のよさは、スポーツ指導にあたる上でも大変役立っている。明るくメリハリのある大きな声と動きで今日も忙しく活動している。

将来の生涯スポーツ像として「住民一人ひとりが一日にスポーツを楽しむ時間を二時間以上にしたい」と語る彼の今後の活躍に期待したい。

(頸城村ユートピアくびき課 山田 幸江 記)



恵贈資料紹介

川口町生涯学習推進計画

かわぐち・学びの里プラン

あなたが主人公自分づくりまちづくり

少し遅れましたが、かわぐち、学びの里プランを紹介させていただきます。

序章・基本構想、基本計画、資料編で内容構成されています。基本構想の中で、生涯学習の必要性について86%の町民の方が大切だ、と意識調査で答えているのが目につきました。また、町の目指す生涯学習



は、設定された学習機会に、受動的に参加するのではなく、企画・運営へ参加、参画すること。そして参加の文化を町民の中に創り出していくことが、地域や人々の間により深く根づいていくことだとしており、さらには、町民が自らの力を生かし、様々な課題解決に努めることにより、「町民が主人公」の町となり、自分の町を住みたい町へと発展させる活力が生まれる、としています。計画の即実践化を期待して。

恵贈資料紹介

平成11年度文部省委嘱事業

「コシヒカリの郷」子ども自然体験村

IN六日町事業報告書

同実行委員会 財日本ユースホステル協会

今、緊急に取組が求められている文部省委嘱「子ども自然体験村」事業に、六日町ユースホステルを中心に、六日町教委、六日町農協等地域ぐるみの組織で実行委員会を組織し、実践した貴重な記録集である。



続けながらたくましく成長していく姿が日々記録され、閉村式では、達成感、連帯感をもって

果立っていく様子が、好感をもって読み取ることが出来る。農業体験、そば打ち体験、森林体験等々実に豊富な体験の場を設定し、プログラム指導に当たられたスタッフの姿、そのご苦労の程が偲ばれる次第である。紙面の都合でここに、ご紹介できないのが実に残念であるが、十二年度事業実施予定の団体にはとても参考になる資料である。

《新山協「中・高年登山教室」募集要項》

呼掛け文 高齢化社会にあって健康維持のため、春の佐渡の山の自然から安全で楽しい登山とは何か、有意義な日を過ごしてみませんか。
内容 山での歩行 読図 衣食 装備 自然観察 マナー等の基礎知識習得
日時 4月1日(日)～4月2日(月) 1泊2日
集合 4月1日 12時 出発 解散 4月2日 21時10分
集合解散は佐渡汽船新潟港入口前(ターミナル)
会場 佐渡ドンデン山 934メートル
主催 新潟県山岳協会 中・高年登山委員会主管
対象 中・高年令者

参加費用 18,500円 交通費 宿泊費 保険料 写真料他を含みます。
申込方法 郵便振替 00680-8-6090 中・高年登山委員会
振込料120円は申込者負担 住所氏名 電話番号の他 通信欄に年令血液型を記入して下さい。
定員と締切 振込確認先着順 104名で締切 振込み後の取消は2月末迄迄、その後の取消は返金は致しません。
登山服装は後程お送りします。
問い合わせ 0250-62-6647坂井 025 265-4495加藤
夜025-267-0701中村 夜025-260-3018佐々木
後援予定 新潟県教育委員会 財新潟県体育協会 財新潟県民体育協会 財新潟市教育委員会 財新潟市体育協会

表紙解説

羽茂中学校・郷土芸能クラブ

2月19日羽茂町公民館で開催された町の芸能祭「羽茂町 町民芸能ステーション」で、日頃の学習の成果を13人の生徒が発表しました。
演目は「二谷嫩軍記」教盛最後の場。語りも中学生が担当し、25分の熱演に会場を埋めた聴衆から、惜しめない拍手が送られました。(羽茂町公民館記)

あとかぎ
◇第51回県大会兼50周年記念大会が、二市北浦公連を中心具体的に動き出すこととなりました。(鈴木記)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025)224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
【定価1部150円 年刊・年極1,800円】